

《外装、内装工事を行っています》

あれだけ暑かった夏も過ぎ、ようやく仕事もしやすい季節となりました。

現場の方は躯体工事が完了し、屋上では防水工事を行っています。また、外部ではアルミサッシの取付けや外壁吹付工事、内部では内装工事が進んでいきます。仕上工事になると、いろんな業種の職人さんたちが代わる代わるやってきて、目に見えて建物が仕上がっていきます。



《定点撮影》 躯体工事完了 R5.10.13



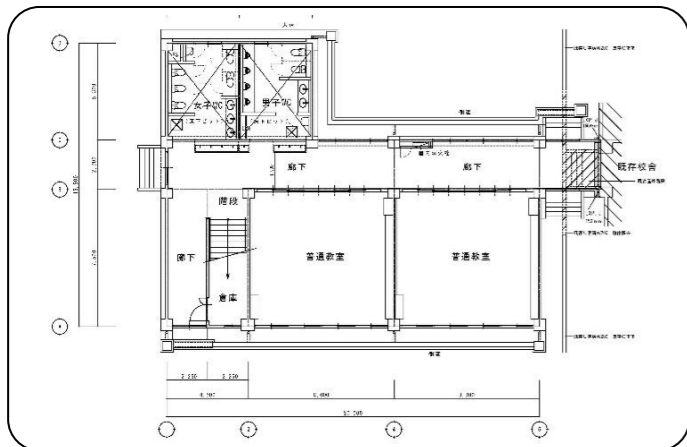
《定点撮影》 1階躯体工事完了 R5.10.19

■ 工事概要

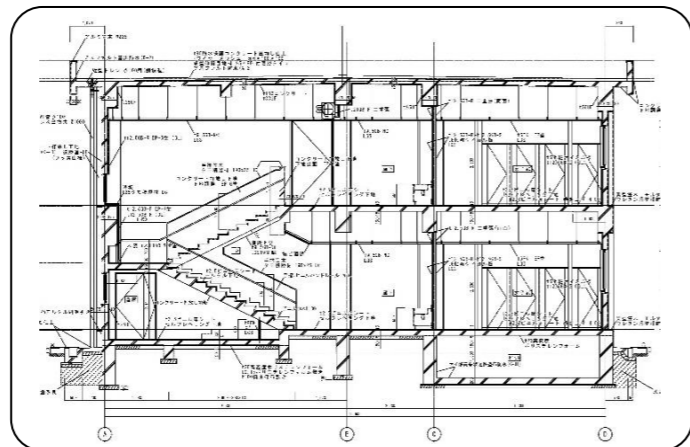
工事名	森田中学校校舎増築工事
工期	令和5年3月1日～令和6年1月26日
監理	福井市建設部建築事務所営繕課
設計	(有)アーキズム建築設計事務所
施工	(株)竹野組
内容	校舎増築 鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積521.22m ²

■ 工程表 全体工期：R5.3.1～R6.1.26

	R5年										R6年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
校舎棟	仮設工事 撤去工事											
			杭工事	基礎工事								
					躯体工事							
									外装工事	外構工事		
									内装工事			

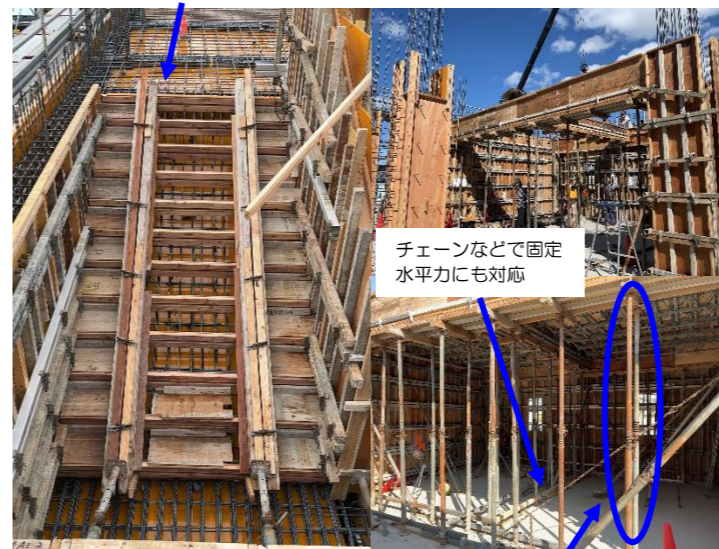


【1階平面図】



【断面詳細図】

階段型枠は特に形状が複雑で難しいです。



チェーンなどで固定
水平力にも対応

このサポートと呼ばれる支柱は1本で最大2t程度まで支えることが出来ます



溶かしたアスファルトを流し込み
ながらルーフィングシートを張付け

↓専用の窯でアスファルトを溶かす

溶かしたアスファルトは250℃程度になり、ぐつぐつと煮えたぎっています

《型枠工事のご紹介》

型枠工事では加工されたベニヤ板や木材などを使用して、生コンクリートを流し込むための型を組立てます。組立てた型枠がそのままの形で構造体となるので、品質に直結する重要な工事です。

コンクリート打設時には大きな重量や力がかかるのでしっかりと固定されたものでなければなりません。また、コンクリートがどのように流れていくのか、型枠を外した時に目的の形になるのか、構造体を立体的に想像できないといけません。

《防水工事のご紹介》

屋上の防水は「アスファルト防水」と言って、防水工事の中でも歴史が古く、信頼性のある工法が採用されています。溶かしたアスファルトとルーフィングシートを重ね敷いて、強靱で水密性の高い防水層を形成します。

溶かしたアスファルトは独特の臭いや煙の発生、火災のリスクがあるのが難点です。臭気対策としてイチゴの臭いがする薬品を入れたり、醤油を入れて香ばしい匂いにしたりする時もあります。

《現場事務所のご紹介》

普段あまり目にする事が出来ない現場事務所の中をご紹介します。書類や図面作成、事務作業に必要なパソコン、プリンターの他、インターネット&WiFi環境も整っており、会社へ帰らなくてもほとんどの作業を現場事務所内で完結することができます。エアコンや冷蔵庫、電子レンジ等も置いてあり、結構快適に過ごせるんですよ。

打合せ用の広いテーブルもあって、ここに工事関係者が集まって定例会議等を開催しています。



事務機
パソコン
書類棚
エアコン
ポット
電子レンジ
冷蔵庫
プリンター
大型プロッター

工事完成までご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます

発行者：株式会社 竹野組 森田中学校校舎増築工事作業所

